

は し が き

アメリカ人はなぜ傘をささないのでしょうか、なぜあんなに極端に太った人が多いのでしょうか、なぜ人種差別問題や銃規制問題が解決しないのでしょうか。これらはアメリカを訪れた人なら必ず抱く素朴な疑問です。

本書はこのような疑問に答えようとするPassageを柱にした英語総合教材です。単に文化の一面を紹介するのではなく、「なぜ」そのような生活スタイルや社会現象が存在するのかなど、理由や背景までを考えた点が特徴的です。話題は、実際にアメリカの大学に留学した日本人学生たちの「アメリカはここが面白い」「ここがどうしても理解できない」という声に基づいて精選されています。平易な英語で、できるだけ簡潔に書きました。

会話やリスニングに関する言語活動は、基本的な言語機能表現の習得を目標にして、できるだけターゲットを絞って、各章にバランスよく配置しました。これは、限られた時間と好ましくない学習環境の中でも、最大の効果が生み出せるように配慮した結果です。動機付けの低い学習者の増加も考慮し、彼(女)らを学習の中心に据え、彼(女)らが、常に何らかの「作業」をしながら、積極的にしかも興味を持って取り組めるような言語活動形式を考えました。また、同じような作業で飽きないように、それぞれの活動は各章バラエティーに富んでいるのも本書の特徴です。

以下、各章の基本的言語活動構成を示します。

Pre-reading Questions : いくつかの質問でスキーマを活性化させ、動機づけをします。

Passage : 留学中の健二と友子がジャーナルをつける形式で書いた300語前後の平易な英文です。話題と中身の面白さに特徴があります。Notesでかなり詳細な語彙説明がありますので、多くの学生は辞書を引かずに読めるでしょう。

Comprehension : True or False、英語での質問、日本語での質問、などの数種類の質問形式で内容理解を深めます。

Vocabulary : 語彙増強をコンテキストを提供しながら行います。

Dialog : 役割分担をはっきり分けた短いダイアログです。相手の部分は筆箱や下敷きなどで隠して練習するといいいでしょう。

Expressions : ターゲットとなる機能表現を厳選しました。

Practice : Expressionsで覚えた表現を自由に使えるように、ペアワークを中心に2種類の言語活動が用意してあります。Aはややコントロールされた言語活動、Bはオープンエンドな言語活動が中心です。

Listening : 全体をつかめば回答できるような形式です。メモをとったり、語彙を埋めたり、数字や名前を()内に入れるなど、様々な活動形式があります。

本書が英語学習と英語教育に真剣に取り組む皆様のお役に立てば幸いです。